

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 12 - 1

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		医師確保対策事業					
評価者	担当課名	国保病院		担当係名		庶務係	
	管理職	職名	事務長		作成者	職名	係長
		氏名	高見雄二			氏名	新谷朋人
事業の概要	地域医療体制を維持するため内科医師を確保する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 2,500 千円 一般財源 千円 事業費計 2,500 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武 ~ 保健・医療・福祉の充実 ~					
	基本施策	6 保健・医療の充実					
	単位施策	5 地域医療体制維持の確立					
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	99 千円	273 千円	500 千円	500 千円	500 千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円	
	合計	99 千円	273 千円	500 千円	500 千円	500 千円	

265

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	常勤医師の確保による安定した医療体制の確立	内科医師		指標(指標計算式/解説)	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常勤医師を確保し、安定した診療体制、上質な医療の提供を目指す	内科医師 2 名	目標年度	平成21年度	
			目標値	2 名	
			実績値	0.67 名	
			達成度	33.3 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	地域住民への安定的な医療提供が可能となり、町民の健康・安全の確保が図られる		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
医師確保対策	病院ホームページや民間紹介業者を利用しての募集 関係機関への情報提供依頼と医師確保に向けた協力要請				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	安定した医療体制を維持していくためには必要な事業であり、地域医療体制の確保は町としての責務である
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	へき地勤務を希望する医師の確保は難しく、新たな内科医師の招聘には至らず、また、予期せぬ常勤内科医師の退職により、目標を達成することができなかった。しかし、本事業の実施によって平成22年度の常勤内科医師1名の確保につなげることができたことは一定の効果があったと判断する。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

課題あり 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	数多くの民間企業の中から、経済的かつ実績のある企業の精選に努め、募集をおこなうとともに、医師派遣事業を行う機関への要請や情報収集をおこなったが、結果として常勤内科医師の不在期間が生じた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	安定した医療の提供体制の確保は町民が常に望むものであり、本事業は公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	
本事業を継続実施してきた成果として、年度当初は2名の内科医師を確保できたが、年度中途における医師の退職によって内科医師不在期間が生じ、当初計画を達成することができなかった。安定的な医療の供給、体制の確保は町として必要不可欠な事項であり、医療体制の確立に向けた、取り組みを充実させる必要がある	同左	



継続 / 内容の見直し・変更	継続 / 内容の見直し・変更	
医師確保に向けた関係機関との連携強化など、取り組みの充実を図るとともに、将来を見据えた非常勤医師の招聘をおこなうなど、事業内容の充実を図っていく	同左	

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--